



**「出港前報告制度」の導入に係る NACCS センターとサービス・プロバイダー
「サイバーロジテック社 (CyberLogitec Co., Ltd.)」との接続契約の締結について**

平成 25 年 1 月 31 日 (木)、輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社 (以下、「NACCS センター」という。) とサービス・プロバイダーのサイバーロジテック社 (CyberLogitec Co., Ltd.) (本社：韓国・ソウル) は、我が国で平成 26 年 3 月からの導入が予定されている「出港前報告制度」に関し、当該制度の報告義務者である海外の船会社及び利用運送事業者 (NVOCC) が NACCS を用い、海外から日本国税関に対し電子的に報告を行う仕組みを整備するため、今般、NACCS とサービス・プロバイダーのシステムを接続することについて、以下のとおり、接続契約を締結いたしましたので、お知らせします。

記

- (1) 日時： 平成 25 年 1 月 31 日 (木)
- (2) 場所： 輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社 (川崎本社)
- (3) 署名者： ①輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社
代表取締役社長 吉本卓雄
②サイバーロジテック社 (CyberLogitec Co., Ltd.)
Vice President チョ・ジン氏 (Mr. Jin Cho)

■本件に関するお問合せ先： 輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社
〒212-0013 川崎市幸区堀川町 580 番地 ソリッドスクエア西館 8 階
担当：企画部 (神例・荒巻)
Tel : 044-520-6278 Fax : 044-520-6247 E-mail: afr-c@naccs.jp

■NACCS センターのホームページにおいては、「出港前報告制度」の専用コーナーを設置し、当該制度の運用に関する情報のほか、サービス・プロバイダーとの接続契約の締結状況についても掲載しておりますので、ご参照ください。

<http://www.naccs.jp/archives/afr/index.html>

【署名式の模様】



◆輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

吉本卓雄代表取締役社長メッセージ

本日、サイバーロジテック社と「出港前報告制度」に係る接続契約を締結することができたことを皆様にお知らせいたします。

韓国のプサン港はコンテナ取扱量で世界でも五指に入る主要港であり、我が国向け貨物の主要積替港であるのみならず、韓国は我が国と極めて近い距離にあることから、同国の港で積み込まれた貨物は緩和措置の適用対象となる場合があるなど、韓国から我が国向けのコンテナ貨物に関する事前情報を如何にして適時適切に入手するかは、出港前報告制度の円滑な実施に向けた大きなチャレンジと言えます。そのチャレンジを乗り越えるパートナーとして、米国、欧州等、我が国の出港前報告制度と同様の事前報告制度におけるサービス・プロバイダーとしての実績を有するサイバーロジテック社を迎えることができ、非常に心強く感じております。

引き続き、両社で緊密に連携してシステム構築や関係者への情報提供等に取り組んで参ります。

◆サービス・プロバイダーのサイバーロジテック社（CyberLogitec Co., Ltd.）

チョ・ジン（Mr. Jin Cho）Vice President メッセージ

“顧客の貨物の安全性を確保すること、可視化された世界的サプライ・チェーンを提供すること”が私達のモットーです。サイバーロジテック社は海運・物流業界専門のIT企業です。2000年の創業以来、サイバーロジテック社は技術力と広範囲な経験をもとに最先端のITとe-サービスソリューションを開発してきました。

SmartLinkはロジスティックspartner間のデータ交換を可能にし、データ・インターフェイスを通してロジスティックスの可視化を提供するサイバーロジテック社のe-サービスソリューションです。SmartLinkは米国AMS、ISF、欧州ICS、韓国AMS、中国CCAMといった税関申告サービスを顧客のために提供してきました。

国際的な税関規制分野のリーディングカンパニーとして台頭してきたサイバーロジテック社は、NACCSの重要なサービス・プロバイダーとして、私達のモットーである“顧客の貨物の安全と可視性”を実現することにより、エラーゼロが達成可能なゴールであると信じています。

私達はNACCSと協力し、新しい日本税関の出港前報告制度においてお客様の手助けになることを大変楽しみにしています。

（以上）